

## ■ 若手職員メッセージ

令和5年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 電気通信事業課



### 安心・安全な環境づくりのために

私は令和5年4月に採用され、電気通信事業課に所属し、スマホやインターネット回線などの電気通信サービスの消費者保護に関する業務を担当しています。具体的には、インターネット回線などを販売する販売代理店の届出受付や青少年がスマホやインターネットを安心・安全に利用するために講師として学校へ出向いて講座を実施したりしています。その他にも、電気通信事業者と消費生活センターの意見交換会の開催準備なども行っており、誰もが安心・安全に電気通信サービスを利用できる環境作りに携われる事に、日々やりがいを感じています。

### 初めて学ぶ情報通信分野

私は大学では農学を専攻しており、入局当初は情報通信分野の知識はほとんどありませんでした。通信局で業務を行ううえで、部署によって仕事内容が異なり、業務の幅も広いと、様々な法律や知識が必要になると思いますが、業務知識に関しては入局後に約1ヶ月間の研修があり、業務に関する専門知識を基礎から丁寧に学ぶことができます。このような充実した研修と日々の業務の中で先輩から丁寧に教えていただけるので、安心して働くことができます。

### あたたかい職場の雰囲気

最初は職場に馴染めるか不安もありましたが、気さくな方ばかりで、あたたかい職場の雰囲気に働きやすさを感じています。九州総合通信局では、採用から3、4年目に本省勤務がありますが、それ以外は基本的に転勤がなく熊本で働く事ができるため、人生設計のしやすい点も当局の魅力だと思います。また休暇も取得しやすく、連続休暇を取得し旅行に行くことができ、私生活も充実しておりワークライフバランスがとりやすい、おすすめの職場だと思います。

少しでも気になった方は官庁訪問に来てみてはいかがでしょうか。

## ■ 若手職員メッセージ

令和5年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 情報通信振興課



### 自治体の補助事業をサポート

私は令和5年4月に採用され、九州管内の情報化の推進を担当しています。具体的には、総務省施策についての自治体への周知やセミナーの開催、補助事業のサポートなどが主な業務です。デスクワークだけでなく、制度の説明や補助事業の打ち合わせのために自治体へ出張に行くこともあり、出張先で先進的な技術を活用した補助事業の見学させていただいたり、業務の合間に先輩方と地元グルメを堪能したりと充実した日々を送っています。

私自身、大学でICTを使った地域の課題解決について研究をしていたため、地域の情報通信分野における現状とその課題解決に向けた取り組みについて触れることができるこの職場にはとてもやりがいを感じています。今後ますます発展していく情報通信分野に携わることができるという点も、通信局の大きな魅力のひとつです。

### 職場の雰囲気の良さを実感

また、説明会で感じた職場の雰囲気の良さも通信局を志望した理由のひとつでした。現在でも当時感じた職場の雰囲気の良さは変わらず、制度面も充実しており、とても働きやすい環境だと思います。採用3、4年目の本省勤務を除き、転勤はほぼ無く、テレワークや休暇も取りやすいため、自分のペースに合わせた働き方を選択することができます。

### 文系からみた通信局

情報通信というと「何をやっているのかわからない」「理系の専門的な知識が必要そう」と不安に思われる方も多いと思いますが、私も文系ですし、職場には何事も丁寧に教えてくださる先輩方や充実した研修制度があるため、安心して通信局に来ていただければと思います。興味を持っていただいた方は、ぜひ通信局を選択肢のひとつとして検討していただければ幸いです。

## ■ 若手職員メッセージ

令和5年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 航空海上課



### 文系でも日々勉強しながら

私は令和5年4月に採用され、海上通信関係の無線局の許認可・検査業務を担当しています。許認可業務では、船舶に無線局を開設する申請があった際に、法令に基づいて審査を行った上で免許状を発給しています。検査業務では、無線局の開設や変更に伴い、又は定期的に、検査が必要な際、周波数や電力等について検査を実施しています。また、出張に行く機会も多くあり、デスクワークが中心な毎日の気分転換にもなっています。設備を検査する上で、海上保安庁の巡視船に乗ったり、空港の滑走路付近や管制塔に足を踏み入れたり、貴重な経験もさせていただいています。無線や電波があまり身近なものではなく、通信局を志望するにあたって不安に思う方もいらっしゃると思いますが、心配しなくても大丈夫です。私自身、文学部出身で無線に関する知識は全くありませんでしたが、周囲の方々の丁寧なサポートのおかげで日々勉強しながら働くことができています。入局後すぐに行われる1ヶ月間の研修で基礎も学べますし、その後も法令や技術に関する座学、設備見学等の研修が充実しています。

入局してから改めて感じましたが、電波はあらゆる分野で必要不可欠な存在です。今後も発展し続ける情報通信の分野から国や九州のICTに貢献できる点が通信局の魅力だと考えます。

### ワークライフバランスの充実

通信局は、残業も少なく、休暇も柔軟に取得することができます。年次休暇は1時間から取得できるので、些細な用事にも対応でき、公私ともに充実した毎日を送ることができます。また、職場の雰囲気も良く、説明会に参加した際に感じた和やかな雰囲気を入局後も感じています。さらには、勤務地が採用3、4年目の本省での勤務以外は熊本の合同庁舎と固定されているので、人生設計が立てやすい点も魅力です。

公務員試験は長く、辛いものですが、皆様がより良い進路選択ができるようお祈りしています。その過程で九州総合通信局を選択肢の1つにいただけたら嬉しいです。ぜひ、説明会や官庁訪問に足を運んでみてください。

## ■ 若手職員メッセージ

令和5年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 陸上課



### やりがいを感じています

私は、防災行政無線や消防無線の許認可を担当しています。デスクワークがメインですが、地方公共団体の方との打ち合わせや、同じ課の他の担当の検査に同行することもあります。疑問に思ったことは質問すると周囲の方々が丁寧に教えてくれるため、わからないことがわからないまま進むことがないことがとてもありがたいです。防災に関わる仕事に携わりたいと思っていたため、毎日やりがいを感じながら働くことができます。

### 充実した研修で成長できる環境

東京での中央研修やオンラインでの研修、職場内での研修等、様々な研修が1年を通して行なわれるため、不安なく業務に取り組むことができます。文系学部出身で電波や情報のことは何も分からない状態から入局したため、仕事に慣れることができるかがとても不安でした。業務に必要なことは研修で1から教わることができ、分からないことがあっても周囲の先輩方にすぐに聞くことができる環境にあるため、安心して業務を進めることができます。また、研修内容についても、自分の配属された部署の仕事のみならず、幅広い分野の研修を受けることができます。施設見学や検査の見学など、職場以外の場所での研修も多くあり、貴重な経験をすることができます。このような充実した研修のおかげで、文理関係なく成長することができる環境だと思います。

### 休暇がとりやすい職場です

休みが取りやすく、ワークライフバランスを重視してくれるところです。単に希望の日に休みが取りやすいだけでなく、時間休も積極的にとることができ、柔軟な休暇の取り方ができます。また、2年間の本省勤務以外はずっと同じ場所で働き続けられることも魅力的だと感じました。

## ■ 若手職員メッセージ



令和5年度採用（一般職（大卒程度）  
デジタル・電気・電子）  
九州総合通信局 陸上課

### 法制度の改正の説明を行っています

私は令和5年4月に採用され、現在は無線通信部陸上課に所属しています。陸上課では、無線の許可業務を行っており、私の担当としては、一般の方から提出されるアマチュア無線に関する申請の処理を行っております。また、最近ではアマチュア無線に関する制度改正も行われ、制度改正に関する問合せが増えており、電話の対応と平行しながら申請の処理を行っております。

今まで触れてきたことのない「電波」に関する業務を行っていますが、先輩方からの助言やサポートもあり、日々楽しく業務をこなしています。陸上課では、他の官公庁や民間の会社の無線局検査にも同行することがあるため、常にデスクに座って作業というわけではなく、沖縄を除く九州の様々な場所を訪れたり、普段では見ることの出来ないようなものを見せてもらったりと、とても充実した経験が出来ます。

### 生活しやすい環境です

私が九州総合通信局を志望した理由は人生設計のしやすさです。出張に行くことはあるものの、3年目、4年目の本省勤務以外は転勤もなく熊本で仕事をする事が出来ます。

私は元々福岡の出身ですが、熊本には美味しい料理や観光地も豊富で、休日は、よくドライブに出かけています。また、九州総合通信局は熊本駅の近くにあるため、仕事終わりに新幹線で地元の福岡に遊びに行くこともあり、立地の良さが重要だと思いました。

### 休暇をとり疲れをリフレッシュ

九州総合通信局の魅力としては、残業が少なく休暇も取りやすいところだと思います。入局して驚いたのですが、1時間単位で休暇をとることができ、とても取得しやすい環境です。突然の用事や遊びに行くときなど、早めに仕事を切り上げて自分の時間を過ごすのも息抜きになって良いと感じました。

## ■ 若手職員メッセージ

令和4年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 航空海上課



### 新しい知識を得る楽しさを実感

私は令和4年4月に採用され、海上通信関係の無線局を担当しています。具体的には、漁船以外の船舶（レジャー船等）に搭載する無線機の許認可・検査業務が主な仕事です。許認可業務では、船舶に無線を搭載する際に必要な免許状を法令に基づき審査した後に発給しています。検査業務は、無線局は開設する際や変更が生じた際、及び定期的に検査が必要な場合があるため、周波数や電力が規定値に収まっているか等の検査を実施しています。また、出張も多く、普段は行くことがないような離島に出向き、実際に船舶に乗って無線局の検査を行うこともあり、デスクワーク以外でも充実した日々を過ごすことができています。

文系の法学部出身で、理系科目がとても苦手なため不安も大きかったですが、申請を審査する中で関係法令を読み解くことは必須であり、大学で培った法律を読む力を活かすことができています。また、理系的な分野についても1から教えていただき、新しい知識を得る楽しさを日々実感しています。

### 職場環境の良さが魅力です

通信局は、採用3、4年目の本省への出向以外は転勤がほぼ無いため、人生設計が立てやすい職場です。また、残業も少なく、休暇もかなり柔軟に取ることが出来るためプライベートでも充実した日々を送ることができます。実際に私もゴールデンウィークとお盆はそれぞれ10日ほど連続して休暇を取得することが出来ました。テレワークについても、希望した日時に実施できるとおり、家でじっくり行いたい業務等がある場合は積極的に実施するようにしています。

職場環境もかなり良く、説明会に参加したときから明るく和やかな雰囲気を感じていましたが、実際に入局してからもそのイメージは変わらず、上司や先輩方は優しく気さくな方ばかりで気軽に質問や相談をすることが出来ます。ぜひ、九州総合通信局の職場を選択肢の1つにしてみてください。

## ■ 若手職員メッセージ

令和4年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 陸上課



### 毎日新しい発見ばかり

私は令和4年4月に採用され、携帯電話事業者の無線局に関わる許認可・検査業務を担当しています。近年広告などでよく耳にする4G、5G基地局はその代表例です。具体的に許認可では、申請された無線設備が技術的に基準を満たしているか、同じ周波数帯を利用する他のシステムに影響を与えない範囲で運用されているか、などを法令と照らし合わせながら審査します。また、検査職員として無線局の現場に赴き運用体制や周波数等の値が適切か確認することもあります。

難しく聞こえるかもしれませんが、周囲の方にサポートしていただきながら様々な業務に挑戦できているので心配はいりません。法令や無線通信技術に関する座学、設備見学の研修も充実しています。これまで知らなかったことを学べるのが、仕事をしていて一番楽しいと思う瞬間です。

### 通信局から国も九州も元気に

業務説明会ではじめて通信局の存在を知りましたが、社会的に関心の高い情報通信分野に携われることに興味を持ち志望しました。実際に働いてみると、想像していた以上に電波は身近な存在だと実感しました。防災無線やレーダー、放送、携帯電話…挙げればきりがありません。電波が必要不可欠な国民生活を支えるという視点と、出先機関として九州のICTに貢献できるという地方の視点の両側面から、やりがいを感じ業務に取り組んでいます。

### 働きやすさが魅力です

職場の雰囲気がよいことも入局の決め手でした。そのイメージは現在も変わらず、気になったことは何でも話し合える環境です。普段から些細な疑問点にも丁寧に対応していただいています。ワークライフバランスにも理解のある職場で、働きやすさが大きな魅力です。九州総合通信局に関心を持っていただけたら嬉しいです。皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。

## ■ 若手職員メッセージ

令和4年度採用（一般職（大卒程度）行政）

九州総合通信局 陸上課



### やりがいを実感できる仕事

私は令和4年4月に採用され、自治体の防災行政無線や消防無線等の許認可を担当としています。近年、自然災害が頻発している状況の中で、人々の生活を守る情報伝達手段の整備等に携わることができ、やりがいを感じながら働いています。

防災行政無線や消防無線の整備にあたっては、先方との打ち合わせを通じて、地域の現状やニーズを把握した上で、その実現に向けて整備計画を検討する場面もあります。

日頃から、県や市町村の職員の方々とやりとりをする機会が多いので、九州管内のさまざまな自治体について詳しく知ることができるのも国の職員ならではの醍醐味だと思います。

無線局を運用するためには、電波の性質上、干渉等が発生しないようにさまざまな調整が必要となりますので、周波数の割当てなど難しい場面もありますが、その分大きな達成感を感じながら働くことができます。

### 成長できる職場環境

私自身、専門的な知識が全くない状態で入局したので、入局するまでの間は文系出身の自分に仕事がつとまるのかと不安に思ったこともありました。もちろん、無線局の許認可業務を行う上で、無線工学などの専門的な知識は必要になりますが、電波法等の法令に則りながら仕事を進めるため、文系・理系の枠にとらわれることなく、総合的な力が培われると感じています。

通信局では、若手職員向けの専門的な研修が充実しており、知識や経験が豊富な上司や先輩がしっかりとサポートしてくれる環境が整っているため、成長を実感しながら充実した日々を送ることができると思います。

基本的に、事務官であっても技官であっても職務内容は同じなので、情報通信行政に関心のある方にはおすすめですし、今後も発展し続ける情報通信の分野から地域課題にアプローチできることは通信局の大きな魅力だと思っています。

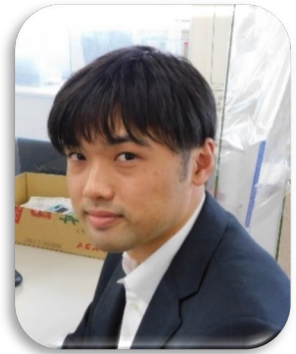
少しでも当局に興味をもっていただけたのであれば、ぜひ説明会に足を運んでいただきたいです。みなさんとお会いできる日を楽しみにしています！



## ■ 若手職員メッセージ

令和4年度採用（一般職（大卒程度）電気・電子・情報）

九州総合通信局 陸上課  
（執筆時：監視調査課）



### 正しく無線を使用してもらうために

私は令和4年4月に採用され、電波監理部監視課に所属しています。業務内容は、監視課という名の通り、私たちの生活を支える重要無線（飛行機や船舶等）に妨害が発生した際の妨害波の排除や、無線の利用者に対して「電波法」という法律に基づいた利用をするように注意喚起を行う業務を行っています。無線に誤作動が生じると、業務機能の停止などに繋がることもあり、また、今後は5Gなど、通信がより生活に欠かせないものになるため、電波監視の重要性を感じています。業務としては、パソコンを用いたデスクワークが主ですが、電波監視専用の機械の操作や出張など、気分転換もできながら業務を行っています。また、私たちの部署は、他の部署に比べ出張が多いのですが、管轄の九州各県（沖縄を除く）を訪れることができる点は魅力であると私は感じています。普段のプライベートではあまり行かない地域や離島に行くことができ、時間があればご当地の料理を食べるなど、九州をより知ることができます。

### 理系から公務員になってみて

私は、大学で情報電気分野を学んできたこともあり、この九州総合通信局を志望しました。入局してみて、周波数やデシベルなど大学で学んできた知識が業務の基本としてあるため、大学の知識が活かせていると感じています。ただ、電波法に基づいて業務を行っているため、法律を読むという点において、入局してから苦労しており、現在も勉強しています。

### 熊本を拠点に

九州総合通信局は、3、4年目の本省勤務を除き、熊本のみでの勤務です。私はそれも魅力に感じ志望しました。先輩方も優しく接していただき、職場の雰囲気も良く、なにより休暇がとりやすく、旅行はもちろん、地元の長崎にもよく帰省し、プライベートも充実して過ごしています。採用人数はあまり多くありませんが、その分先輩方とも仲良くなりやすく、楽しく仕事をしています。少しでも興味がある方は、ぜひ官庁訪問にいらしてください。